令和６年度　つかわき便り　　令和６年６月１日発行

ゆうらくせん 遊楽船６月号

施設長　福永政和

梅雨の候、いかがお過ごしでしょうか。この季節は園内のサツキや色とりどりのアジサイの花が心を和ませてくれます。

さて、この６月から利用者の皆様の新たな日中活動の班編制、居室の入れ替え、併せて職員の担当者替えを行いました。５月３１日に発表し、居室の入れ替えと同時に大掃除も実施しました。一年ぶりの大がかりな再編成でしたので、皆さん一喜一憂の一日となりました。これまでの状況を踏まえながら、更に気持ちを新たに活動等に励んでいただけることを願いながら、充実した日々となるよう支援してまいります。近々、新担任から保護者へ電話で挨拶させますので、連携を図っていただきますようよろしくお願い致します。

また、先月、家族会評議員会と総会を開催しました。家族会の方々も年々高齢化しておりますので、なかなか出席が難しいご家庭が多く、委任状をもって会の成立とさせていただきました。前年度の事業報告・決算及び今年度の事業計画・予算等について審議いたしました。いずれも原案どおり可決となりましたことをお知らせします。家族会の皆様が益々お元気で、つかわきの行事へ多数参加していただけることを願っています。引き続き、利用者の皆様方の笑顔のために御協力いただきますようお願い致します。

ところで、今月４日は弟の伸二の一周忌です。早いもので一年、実家に帰る度に遺影に語りかけています。弟とは生前、学園のことや利用者さんのことについて情報を共有しながらの日々でした。また、利用者の皆様方の日常品の買い物や旅行など常に共にしておりましたので、ことあるごとに思い出し、それができなくなったこの一年は、やはり寂しいものでした。一番の心配は母のことでした。私たち兄妹以上に母にとってはこの上ない寂しさと同居しながらも、気丈に生きる母の姿に真の愛情、強さも感じています。

雨に打たれながらも咲くアジサイ、特に、今年は学園入り口の土手に咲く白色のアジサイが昨年以上に花をつけてくれています。手をかけ愛情を注いだ分、花は応えてくれます。利用者の幸せもまた同じ。親子で集まる一周忌では、親父や伸二が残してくれた学園での思い出を振り返りながら、あらためて今後の学園の進むべき道、利用者の皆様方の幸せを考えてみたいと思います。

雨の多くなる時期、皆様、どうぞ御自愛ください。

班での外出（さくらんぼ班・陶芸班）

４・５月はさくらんぼ班と陶芸班が班単位で外出。さくらんぼ班は水族館へ陶芸班は和気公園や黎明館や鹿児島市美術館へとそれぞれ見学や食事を楽しんできました。やはり利用者の皆様にとって、施設の外の空気を吸うことは一番の楽しみです。皆さん満喫された様子、笑顔で帰ってきました。

今後もこうした外出は、各班の日中活動において随時実施してまいりたいと思います。

よろしくお願いします！

たいよう班でのジャガイモの収穫がんばりました。（松元さん）

今年度に入り、新しい利用者さんが仲間に加わりました。４月９日から松元慶将さん、また、５月７日から杉谷岩彦さんのお二人です。

現在、松元さんはたいよう班、杉谷さんはなでしこ班で活動しています。はじめは、少々不安な様子もありましたが、お二人とも若く元気で、他の利用者さん方からも声をかけられ、随分と落ち着いて生活できるようになっています。親元を離れての生活、きっと寂しい時期もあると思いますが、寝食を共にするつかわきの家族の一員として、楽しみを分かち合い充実した日々となるよう支援してまいります。家族会の皆様、どうぞよろしくお願いします。

Happy Birthday

５月２６日（日）、５月生まれの利用者さんの誕生日を皆さんでお祝いしました。木佐木チヅ子さん、甑 明弘さん、鮫島のぞみさんの３名です。３人ともプレゼントを手にご満悦の様子でした。これからも元気に楽しく頑張りましょう。